



幼児（1歳～就学前）の心肺蘇生は、保護者でも落ち着いて手順を覚えておけば、いざという時に命を救える可能性があります。ここでは基本的な心肺蘇生の流れをわかりやすく解説します。

①

お子さんが倒れた時は意識があるか声をかけましょう。（安全な場所で行う）

〇〇さん大丈夫！？

もしもし！

★意識がある場合はイラストのような体位をとって救急車を待ちます。

あごを上げさせて
手で支える



②

意識がない場合は周りに助けを呼びます。



③

脈があるか、呼吸をしているか確認します。



④

胸骨圧迫をします。圧迫方法は片手で行います。

胸の厚みの約1/3をしっかりと圧迫

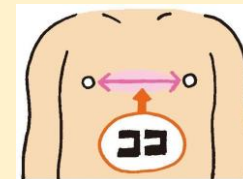
テンポは1分間に100～120回



「アンパンマンのマーチ」のリズムがおススメ
そうだ おそれないで みんなのために～♪

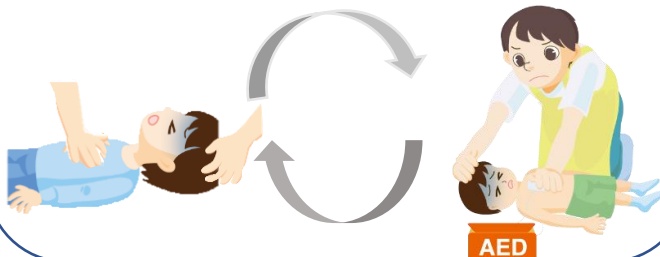
人工呼吸はしない
人工呼吸より胸骨圧迫を
続けることが大切です

胸骨圧迫の位置
‘胸のまんなか’



⑤

AEDが到着したら、音声ガイドに従って電極パットを装着し心停止した心臓に電気ショックを与えます。電気ショック後はただちに心肺蘇生しましょう。



日本赤十字社
「心肺蘇生とAEDの使い方」



POINT

AEDは小児用（未就学児用）パットがあれば使用し、なければ成人用（小学生から大人用）でも代用可能です。



次回はR8年3月頃配布予定です！

湯ったりゆがわら健幸プラン「乳幼児期 子どもの健康ワンポイント講座」
問い合わせ/保健センター 63-2111（内線365）

